

製薬産業の トータルコーディネーターとして

革新的な医薬品の創出を通じて、 人々の健康と福祉の向上に貢献します。

私たち日本製薬工業協会（製薬協）は、革新的で有用性の高い医薬品の研究開発を通じて製薬産業の健全な発展と、日本および世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす研究開発志向型製薬企業の団体です。

日本の製薬産業の研究開発力は世界的に見ても高い水準にあり、私たちが創出した医薬品は世界中の多くの患者さんのクオリティ・オブ・ライフ向上に役立っています。今世紀にはいつから、遺伝子（ゲノム）研究など生命科学の分野では目覚ましい進歩が見られており、今後それらの成果や新しい技術を優れた医薬品の創出につなげていくことを通じて、引き続き医療に貢献していく所存です。

医薬品の研究開発には長い年月と多額の費用を要するだけでなく、その成功確率は近年ますます厳しいものとなっています。私たちが産業としての競争力を維持し、世界の医療に貢献していくためにも、医薬品の持つ価値が適切に評価される薬価制度が必要となります。2年後の本格実施に向け、2010年度より新たな薬価制度も試行されています。

また、製薬産業は知識・技術集約型産業として、我が国の持続的な経済成長を可能にするための重要な役割を担っています。

2007年に厚生労働省等、関係省庁により策定された「革新的な医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」に基づき、治験環境の整備や国際連携・協力も視野に入れた様々な

取り組みを実行し、イノベーションの促進を加速してまいります。そして、革新的な医薬品の創出に向けて個々の会員企業が研究・開発力の強化を図るとともに、製薬協では、未承認薬開発支援等、産業としての社会的使命の実現を通じて、国・社会からの期待に応えてまいります。

さらに製薬協では、「世界の人々の健康と福祉に貢献する産業」、「日本の経済成長に貢献する産業」を目指して、関係省庁への政策提言活動や、広く国民に向けた広報活動を積極的に行ってまいります。

日本製薬工業協会 会長

長谷川 閑史



長谷川 閑史
1970年 早稲田大学政経学部経済学科卒業後、武田薬品工業（株）入社
医薬国際本部長、経営企画部長、事業戦略部長を歴任
1999年 取締役就任
2003年 代表取締役社長に就任
2010年5月 日本製薬工業協会会長就任



製薬協とは

製薬協は、研究開発志向型の製薬企業68社（2010年6月現在）が加盟する任意団体です。

1968年に設立され、「患者中心の医療の実現」をモットーとして、医療用医薬品を対象とした画期的な新薬の開発を通じて、世界の医療に貢献してきました。

製薬協では製薬産業に共通する諸問題の解決や医薬品に対する理解を深めるための活動、国際的な連携活動など多面的な事業を展開しています。また、特に政策策定と提言活動の強化、国際化への対応、広報体制の強化を通じて、製薬産業の健全な発展に取り組んでいます。

併せて、製薬協（英文名略称:JPMA^{*1}）は、米国研究製薬工業協会（PhRMA^{*2}）や欧州製薬団体連合会（EFPIA^{*3}）とともに、「日・米・欧」という世界の医薬品市場における3極の製薬団体として活動を展開し、医薬品規制の国際的な調和をめざす日米EU医薬品規制調和国際会議（ICH^{*4}）の主要メンバーとして活動中です。

さらに、製薬協は国際製薬団体連合会（IFPMA^{*5}）の加盟協会として地球規模で蔓延する疾患対策や発展途上国などにおける伝染病対策、医薬品アクセス問題と知的財産権など世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応しています。

各加盟団体と相互に情報交換と連携を図りながら、世界の患者さんの治療に貢献するためにグローバルな活動を展開しています。

- *1. JPMA・・・Japan Pharmaceutical Manufacturers Association
- *2. PhRMA・・・Pharmaceutical Research and Manufacturers of America
- *3. EFPIA・・・European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations
- *4. ICH・・・International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use
- *5. IFPMA・・・International Federation of Pharmaceutical Manufacturers & Associations